



学校だより

平成30年1月9日
文京区立文林中学校
第9号

あけまして

おめでとうございます

校長 本郷 光一

2018年がスタートしました。今年の干支は戌（いぬ）、戌年は「結実」を表す年でもあると言われます。仕事、勉強、家庭での取組、人間関係等、これまで続けてきた様々な取組に、きっと良い結果が表れる年となるでしょう。努力が報われる、形になるのが戌年と言われています。希望が湧いてきますね。

皆様方におかれましても今年が良い年になりますようお願いしております。

1月9日（火）3学期の始業式、生徒と共に「あけましておめでとうございます」という新年の挨拶から始まりました。体育館に整列をした生徒の様子を見てみると、縦横が整然と整えられ、しっかり正面を見ている姿に、いつもと同じと感心をさせられました。

今日から最後の学期が始まりました。3年生にとってははいよいよ自分の進路を決める大切な時期です。体調管理をしっかりと行い、悔いの残らない取組を行ってください。みんなで応援しています。

正月のもう一つの楽しみは「箱根駅伝」を見ることです。皆さんの中にもファンがいると思いますが、今年で94回目を数える歴史的な大会です。過去に数々の出来事がありました。今年も新たな歴史の1ページが開かれた気がしています。

陸上競技というと個人競技ととらわれますが、リレー競技と駅伝競技はチーム力が問われる集団競技です。特に駅伝競技は日本が作った競技です。個人の力が問われることはもちろんですが、一本の襷（たすき）を繋ぎながら10区間を走りきるのがこの箱根駅伝です。

今大会、優勝したのは青山学院大学でした。これで4連覇達成という快挙でしたが、ここまでの道のりは過去3大会よりも苦しいものがあつたと思います。

10月の出雲全日本大学駅伝は2位、11月の全日本駅伝では3位とライバル校に優勝を譲っていたのです。しかし原監督は、「箱根は勝つ」とレース前からコメントをしていました。その往路、優勝したのは1区でリズムをつかんだ東洋大学でした。その差は36秒、復路の始まる前「36秒の差は想定内、往路優勝はできなかったが、6区の山下りで捕え、その後は本校の得意のピクニックランだ。」と強気の発言をしていました。実際終わってみればそのとおり、展開も原監督が描いていたとおりの結果になりました。その自信はどこから来るのでしょうか？選手を信じているからこそその結果だったのではないのでしょうか。

～12月の主な行事～

☆12月8日(金) 2年生「マネートラブル出前授業」

文京区消費者センター、くらし設計塾の方々のご協力により、2年生を対象とした「マネートラブル」に関する出前授業が行われました。お金とはどのようなものか?という問いかけから始まり、トラブルにあっちゃう度は何%? クレジットカードの仕組みや通信販売のメリット、デメリットなどについて学習しました。将来、お金のトラブルに巻き込まれないよう、学んだことを活かして行ってほしいです。



☆12月9日(土) いのちと心の授業

東京大学総合研究博物館教授、獣医学博士の遠藤秀紀先生による講演がありました。上野動物園ジャイアントパンダ フェイウェイの第7の指の発見者としても有名で、動物を解剖することで進化の歴史を明らかにし、生命観の革新を訴えてきました。今回は「解剖学が語る進化の歴史」というテーマで講演していただきました。スライドを使って動物の死体から進化の歴史が分かること、動物の死体を集めそれを剥製にして博物館に残すことで二度目の生涯を与える仕事に携わっていることなどについて話をしていただきました。



☆12月18日(月) 3年生「弁当の日」

3年生にとっては3回目の「弁当の日」。一昨年、昨年とは違ったお弁当が作れたのではないのでしょうか。13日にはお弁当づくりのための事前学習として「頭の良くなる弁当」というテーマで江頭栄養士による講義が行われました。自分で食材を買い、調理し弁当箱に詰める。その作業をとおして、親への感謝の気持ち、食への関心、いのちを尊重する心をもつことを目的とした取組でした。3月には3年生にとって最後の「弁当の日」があります。



☆12月23日(土) 千駄木の郷訪問

今年度、夏に続いて2回目の訪問となった千駄木の郷でのお年寄りの方たちとのふれあい活動。九中生も加わっての吹奏楽部や茶道部、有志による訪問でした。サンタの帽子やトナカイの角を頭に付けて演奏を行い、そのあとクリスマスツリーの飾り付けをするお年寄りの方々のお手伝いをしてきました。

